

不戦大学

国家管理される〈性〉 — 敗戦後における「慰安政策」と純潔教育 —

講師 田代美江子さん（埼玉大学教育学部教授）

- ◇ 日時 2013年12月7日(土)13時30分～16時30分(開場13時)
- ◇ 会場 エデュカス東京(全国文化教育会館)地下AB会議室
東京都千代田区二番町12-1 tel 03-5210-3511
- ◇ 会費 800円 *お誘い合わせてのご来場をお待ちしております!

“「従軍慰安婦」は必要だった”の暴言を繰り返し、最後はマスコミの“大誤報”と開き直って何の反省も責任も示さない橋下大阪市長。この人は本当に弁護士の資格を持っているのだろうかと疑いたくなります。日本はもちろんのこと、世界中から抗議と非難の声が殺到しました。

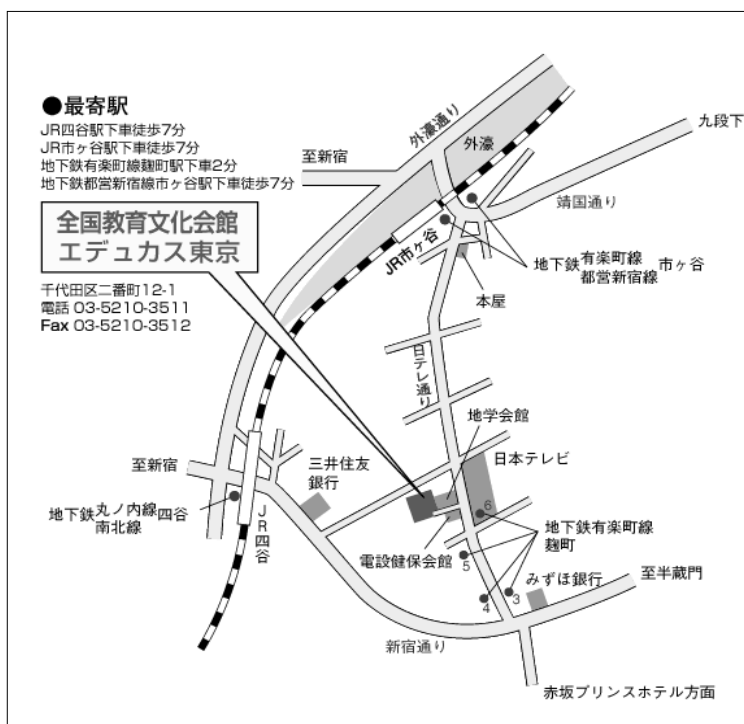
戦争と戦場には「従軍慰安婦」は必要であり、世界の軍隊では当たり前という、高名な某御用学者の妄言が依然として通用しているこの日本社会 — “産めよ殖やせよ” と、侵略戦争の兵士づくりに動員された戦前の日本の母親たち。

女性の人権と人格が本当に尊重されない社会は、おぞましい差別と抑圧の社会です。

戦後は本当に変わったのでしょうか。ジェンダー論、性教育と純潔問題の文字どおり第一人者の田代美江子さんが、戦後史における性問題

を語ります。田代さんはまた大学で、“戦争の記憶と平和の思想”と題して、すばらしい平和教育を全学的に実践されています。

日本の性教育の歴史を戦争をはさんで近代から現代にかけてみると、性の学習を権利として位置づけることのできない日本の課題が、浮き彫りになると田代さんは語ります。大いに学習・討論しましょう。



主催／不戦兵士・市民の会 tel 0438-40-5941 fax 0438-40-5942

千葉県木更津市八幡台 2-5 C-1

後援／第9条の会・オーバ―東京 tel 03-5377-5885 fax 03-6762-3233

東京都杉並区阿佐谷南 1-37-11-301